

天敵保護装置



カブリダニパック製剤用資材

特許番号：第5681334号

▼バンカーシート設置例



野菜育苗期



野菜定植後



イチゴ親株



果樹

天敵製剤を1パック化!

難敵な
アザミウマ類や
ハダニ類に!

簡単に、環境にやさしく、低コストを実現

■ バンカーシートの特長

1 シート内で増殖し
長期間放出される

2 温度緩和・湿度
保持効果

3 耐雨・耐水効果

4 農薬
シェルター効果

■ 現状の天敵利用の問題点とバンカーシートによる解決策

現状の問題点

難しい

害虫の発生タイミングが不定期であるため、天敵放飼の適期を見定めることが難しい

定着
しにくい

天敵の隠れ場所や産卵場所が少ないうえ、気温や湿度、散水や化学農薬散布による影響を受けやすい

高コスト

天敵が定着しなかった場合、生産者は天敵の繰り返し放飼が必要となり、負担が大きい

解決策

簡単

天敵を長期間保護・増殖するため、害虫の発生前に計画的に放飼し、待ち伏せ防除可能

定着
しやすい

天敵の隠れ場所、産卵場所を提供し、気温や湿度変化、薬剤散布の影響を緩和する

コスト低減

天敵が長期間放出され続けるため、繰り返し放飼の負担を軽減できる



JAグループ

農

協

全農

経済連



石原産業株式会社

全農は登録商標 第4702318号

■バンカーシートの構成物・組み立て方

✓ バンカーシート本体
↓ カブリダニパック製剤

プランツボール→
←産卵基質（黒フェルト）

①フェルトでカブリダニパックを挟みます。

②バンカーシートの下から挿入した後、プランツボールを5個入れます。

③上図のように入れてください。
①×印のある折込み部分を先に折込み、
②○印のある折込みはあとから折込んでください。

■有効成分 ミヤコカブリダニ 100頭/パック
スワルスキーカブリダニ 250頭/パック

■その他の成分 バンカーシート
黒フェルト(産卵基質)
プランツボール

■販売製品

ミヤコバンカー®（セット製品愛称）

〈セット〉
システムミヤコくん®
(パック剤:100パック)
+バンカーシート®(100個)
+フェルト(産卵基質:100枚)
+プランツボール

スワルバンカー®（セット製品愛称）

〈セット〉
システムスワルくん®
(パック剤:100パック)
+バンカーシート®(100個)
+フェルト(産卵基質:100枚)
+Nutrimite®(花粉50g)
+プランツボール

■適用病害虫と使用方法

システムミヤコくん® 農林水産省登録 第23784号
ミヤコカブリダニ剤 成分:ミヤコカブリダニ(100頭/パック)
その他成分:サヤアシニクダニ、ふすま 等
性状:淡褐色粒

システムスワルくん® 農林水産省登録 第23777号
スワルスキーカブリダニ剤 成分:スワルスキーカブリダニ(250頭/パック)
その他成分:サトウダニ、ふすま 等
性状:淡褐色粒

天敵殺虫剤
システムミヤコくん®
®は石原産業株式会社の登録商標

天敵殺虫剤
システムスワルくん®
®は石原産業株式会社の登録商標

【適用害虫と使用方法】						【適用害虫と使用方法】					
作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	使用方法	総使用回数*	作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	使用方法	総使用回数*
野菜類 (施設栽培)	ハダニ類	50~100 パック/10a	発生直前 ~ 発生初期	放飼	—	野菜類 (施設栽培、ただし、 トマト、ミニトマトを除く)	アザミウマ類 コナジラミ類	100~200 パック/10a	発生直前 ~ 発生初期	放飼	—
						かんきつ (施設栽培)	ミカンハダニ	1~5 パック/樹			
						マンゴー (施設栽培)	チャノキイロ アザミウマ	2パック/樹			

※本内容は平成28年8月29日付けの登録に基づいている。

■バンカーシート使用上の注意事項

1. パック内でのカブリダニの生存日数は短いので、入手後速やかに使用し、使いきってください。
2. パックを破らずにそのままバンカーシートの中にフェルトと一緒に入れてください。作物の茎や枝等に直接またはできるだけ近接して吊り下げるか株元に置いてください。
3. 害虫の密度が高まってからの放飼は十分な効果が得られないので、害虫の発生直前から発生初期に最初の放飼してください。
4. ハダニ等の害虫の密度が高まってからの放飼は十分な効果が得られないので、害虫の発生初期に最初の放飼をしてください。
5. かんきつ類のミカンハダニの防除に使用する場合は、無加温、厳冬期等の天敵が活動できない時期の使用を避けてください。
6. 放飼はできるだけ均一に行うことを原則としますが、害虫の発生にむらがある場合には発生が多いところに重点的に放飼してください。
7. カブリダニの活動に影響を及ぼすおそれがあるので、本剤の使用期間中に他剤を処理する場合は十分に注意してください。
8. 苗床で放飼する場合には、本圃面積相当の使用量とすること。